

「平安があるように」

1. はじめに

- ・この箇所はBIC CORE VALUERS 1章にでてくる箇所です。内容は復活です。復活の第一の意味は、罪、死、サタンに対する勝利ですが、今回は、復活のイエスとの出会いにおける、人格的な交わりを考えたい。

2. 本文

- ・19節 平安があなたがたにあるように。
 - ・弟子たちはユダヤ人を恐れていて、戸を閉めていた。(19節)
 - ・イエスは、その手とわき腹を彼らに示された。弟子たちは、**主を見て喜んだ**。(20節)
- ・21節 平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。
 - ・彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。」22節
 - ・「息を吹きかける」 創世記2：7「その鼻にいのちの息を吹き込まれた」
 - ・あなたがたがだれかの罪を赦すなら、その人の罪は赦され、あなたがたがだれかの罪をそのまま残すなら、それはそのまま残ります。」(つなぐこと、解くこと) 23節
 - ・使徒としての使命
 - ・権威を授ける
- ・24節 デドモと呼ばれるトマス (12使徒)
 - ・トマスの疑い 25節
 - ・トマスの率直さ。「見る」だけでなく「さわる」ことを求めた。(ユダヤ人はしるしを求める)
 - ・疑いについて ペテロ、パウロ
 - ・イエスの態度 27節
 - ・トマスのための顕現、十字架の傷を負ったままの姿で復活されたイエス。
 - ・戸が閉じられていたが、イエスが来て、「弟子たちに平安あれ」と言われた。それからトマスに言われた。「見て、さわりなさい」
 - ・見ずに信じる者は幸いです 29節
 - ・トマスの告白
 - ・**「私の主。私の神。」**
- ・31節 この本の目的
 - ・あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。

3. まとめ

- ・私たちがイエスと会うには
 - ・主は真実な方なので人格的な交わりを求める